



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3799 URL <https://www.keyware.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報IR室長 (氏名) 北川 久美子 (TEL) 03(3290)1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,989	△2.8	△134	—	△87	—	△67	—
2026年3月期第1四半期	5,132	11.4	17	—	64	—	45	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △26百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 38百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△8.10	—
2026年3月期第1四半期	5.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,824	7,835	72.4
2026年3月期	12,012	8,004	66.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,835百万円 2026年3月期 8,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,000	5.6	1,200	6.1	1,230	2.8	810	96.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	9,110,000株	2026年3月期	9,110,000株
2027年3月期1Q	748,673株	2026年3月期	748,673株
2027年3月期1Q	8,361,327株	2026年3月期1Q	8,349,327株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
(受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復が続きました。一方で、中東情勢の影響や金融資本市場の変動、米国の通商政策をめぐる動向などから、先行きについては依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年7月に総務省が発表した2026年5月のサービス産業動態統計調査(速報)によれば、売上高合計は前年同月比4.3%増と50ヵ月連続で前年を上回りました。また、当社グループの売上高の半分を占める「受注開発ソフトウェア業」は前年同月比1.9%減と2ヵ月連続で前年を下回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、5ヵ年中期経営計画「Vision2026」に基づき、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス*の拡大」「新領域へのチャレンジ」を推進しました。

「Vision2026」の最終年度となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、プロダクトやクラウドサービスなどを活用した開発へのシフトを引き続き推進したほか、資本業務提携先である株式会社J R東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社との連携を進めました。また、請負案件の拡大および不採算案件の抑制に引き続き取り組むとともに、AI技術の活用を進めるなど、開発業務の効率化に取り組みました。医療ヘルスケア領域においては、専門性と提供価値の一層の向上を図るため、本年4月1日付で当社の医療ソリューション事業を連結子会社であるキーウェアメディカル株式会社に承継し、同社が事業を開始しました。

「プライムビジネスの拡大」に向けては、ERPパッケージ(SAP、Biz J、IFS等)を活用した基幹システム刷新の提案活動を推進したほか、Biz Jを活用した自社開発テンプレートの新バージョン提供に向けた開発を進めました。また、既存顧客における取引領域の拡大や、顧客の課題を起点とした提案活動を通じて、新たな案件機会の創出に取り組みました。加えて、サイバーセキュリティ領域における提案力および技術対応力の強化に向けて、当社グループのエンジニアを対象としたAIセキュリティ教育を実施しました。

「新領域へのチャレンジ」に向けては、連結子会社である株式会社オーガルが、農業ICTを活用した次世代型生産事業に関する取り組みを進めました。また、デジタル金融領域においては、株式会社デジタルアセットマーケティングとの連携による関連領域への参画を進めるとともに、ブロックチェーン技術を活用したサイバーレジリエンスサービス「デジタルシェルター」の導入提案活動を推進しました。

※ 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は4,850百万円(前年同期比109百万円増、2.3%増)、売上高は4,989百万円(同143百万円減、2.8%減)、営業損失は134百万円(前年同期は17百万円の利益)、経常損失は87百万円(前年同期は64百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は67百万円(前年同期は45百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は3,008百万円(前年同期比26百万円減、0.9%減)、売上高は2,894百万円(同141百万円減、4.7%減)、営業損失は86百万円(前年同期は9百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、公共系での案件拡大などがあったものの、前期に大型案件の受注があった運輸系での反動減などが影響し、前期比で減少となりました。売上高につきましては、運輸系では前期に獲得した大型案件の開発が順調に推移したことなどによる増加があったものの、IoT系での案件縮小などが影響し、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、2026年8月に予定している本社移転対応に伴う一般管理費の増加などが影響し、損失計上となりました。

② S I 事業

受注高は1,077百万円(前年同期比83百万円増、8.4%増)、売上高は1,543百万円(同39百万円増、2.6%増)、営業損失は17百万円(前年同期は55百万円の利益)となりました。

受注高および売上高につきましては、ERP系での案件縮小などがあったものの、小売り・卸業向け、官公庁

向けでの案件拡大、インフラ系での新規案件の獲得などにより前期比で増加いたしました。損益面につきましては、2026年8月に予定している本社移転対応に伴う一般管理費の増加などが影響し、損失計上となりました。

③ その他事業

受注高は765百万円(前年同期比52百万円増、7.4%増)、売上高は551百万円(同41百万円減、7.0%減)、営業損失は25百万円(前年同期は20百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、サポートサービス系などが軟調に推移したものの、コンサルティング系が堅調に推移したことなどにより前期比で増加いたしました。売上高につきましては、サポートサービス系、販売系が軟調に推移し前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、2026年8月に予定している本社移転対応に伴う一般管理費の増加などが影響し、損失計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、8,637百万円(前連結会計年度末比1,225百万円減、12.4%減)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、2,186百万円(前連結会計年度末比37百万円増、1.8%増)となりました。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,917百万円(前連結会計年度末比1,019百万円減、25.9%減)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、71百万円(前連結会計年度末比0百万円増、0.2%増)となりました。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,835百万円(前連結会計年度末比168百万円減、2.1%減)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね当初計画どおりに推移していることから、2026年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,365,750	4,231,664
受取手形、売掛金及び契約資産	5,829,217	3,900,783
電子記録債権	317,904	92,598
商品及び製品	75,156	103,674
仕掛品	25,317	50,521
その他	254,553	262,466
貸倒引当金	△4,707	△4,090
流動資産合計	9,863,192	8,637,618
固定資産		
有形固定資産	325,076	317,314
無形固定資産		
のれん	42,618	37,291
その他	235,631	222,017
無形固定資産合計	278,249	259,308
投資その他の資産		
投資有価証券	398,531	458,831
その他	1,147,234	1,151,444
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	1,545,720	1,610,230
固定資産合計	2,149,046	2,186,853
資産合計	12,012,239	10,824,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,287,934	766,359
未払法人税等	412,635	11,054
賞与引当金	825,621	383,748
受注損失引当金	—	11,615
株主優待引当金	12,546	—
事務所移転費用引当金	163,770	163,770
資産除去債務	296,782	296,782
その他	937,505	1,284,123
流動負債合計	3,936,794	2,917,453
固定負債		
資産除去債務	70,996	71,108
固定負債合計	70,996	71,108
負債合計	4,007,791	2,988,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	765,583	765,583
利益剰余金	5,813,417	5,603,585
自己株式	△442,305	△442,305
株主資本合計	7,873,933	7,664,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,515	171,808
その他の包括利益累計額合計	130,515	171,808
純資産合計	8,004,448	7,835,910
負債純資産合計	12,012,239	10,824,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,132,323	4,989,218
売上原価	4,294,748	4,264,199
売上総利益	837,575	725,019
販売費及び一般管理費	820,078	859,164
営業利益又は営業損失(△)	17,496	△134,144
営業外収益		
受取配当金	36,217	39,760
その他	15,359	10,861
営業外収益合計	51,576	50,621
営業外費用		
支払手数料	4,638	4,446
その他	0	—
営業外費用合計	4,638	4,446
経常利益又は経常損失(△)	64,434	△87,970
特別利益		
投資有価証券売却益	3,485	—
特別利益合計	3,485	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	67,919	△87,970
法人税等	22,511	△20,281
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,407	△67,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	45,407	△67,689

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	45,407	△67,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,446	41,293
その他の包括利益合計	△6,446	41,293
四半期包括利益	38,961	△26,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,961	△26,395
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	3,035,524	1,504,087	592,711	5,132,323	—	5,132,323
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	56,371	6,424	67,628	130,424	△130,424	—
計	3,091,895	1,510,512	660,339	5,262,747	△130,424	5,132,323
セグメント利益 又は損失(△)	△9,107	55,423	△20,837	25,478	△7,982	17,496

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△7,982千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,894,211	1,543,812	551,194	4,989,218	—	4,989,218
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	35,515	3,427	55,820	94,762	△94,762	—
計	2,929,726	1,547,240	607,015	5,083,981	△94,762	4,989,218
セグメント損失(△)	△86,239	△17,492	△25,113	△128,844	△5,300	△134,144

(注) 1. セグメント損失の調整額△5,300千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	54,428千円	35,252千円
のれんの償却額	5,327千円	5,327千円

3. その他

(受注の状況)

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	3,008,091	△0.9	3,158,307	△15.1
S I 事業	1,077,138	8.4	1,643,761	△8.0
その他事業	765,023	7.4	694,872	12.9
合計	4,850,253	2.3	5,496,941	△10.2

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。